

なんのために What・Which を使うのか？

WhatやWhichの質問の目的は、「言い換え」、または「説明」を引き出すことです。子どもとの対話では、どうしても言葉が足りなかったり、「もっと説明してー!」という気持ちになることがあると思います。そんなときに使うのがWhatやWhichです。

似たものにWhyがありますが、Whyは理由や原因を探るもの。Whyは子どもの価値観を探る上で重要な質問ですが、あまり使いすぎると、考えがまだ深まっていない子どもは答えに詰まってしまうたり、警戒心を抱いてしまったりします。

なので、Whatの言い換えを使って、子どもが伝えたいことを詳しく限定していくことが大切です。

例えば、What・Which の質問は、こんな言葉です。

🔍 具体的にききたい！

「楽しいから!」のような漠然とした言葉や、「なんかいや」のような抽象的な言葉を具体的にしていくWhatの質問。

〇〇って、何？

〇〇って、
どういうこと？

〇〇って、
どんな？

例えば？

「何不自由なく暮らしているから」

『(あなたにとって)不自由ない暮らしって
どういうもの?』

「弟ともっと仲良くなりたい」

『どういうこと(状態)が仲が良い状態?』

「いやなことされたりするから」

『いやなことって何? 例えば?』

⚖️ 意味をしぼりたい！

なかなか言葉が見つからないときに、選択肢を与えて、考えの範囲を狭めていくWhichの質問。

AとBなら、
どっちが〇〇？

Aだから
〇〇なのか、
Bだから
〇〇なのか、
どっち？

「友だちともっと遊んで思い出を増やしていきたい」

『(あなたにとって)遊ぶことが大事なの?
思い出を増やすことが大事なの?』

「鉛筆を盗られて困ったから嫌な気持ちになった」

『盗られたから嫌? 困ったから嫌?』

「スマホを持ったら便利だから欲しい」

『便利だから欲しいの? スマホだから欲しいの?』

📝 まとめ・定義をしたい！

対話を重ねる中で「ようするにこういうことが言いたいのかな」と思う言葉を投げかけて確認をとるWhatの質問。

〇〇って、
こういうこと？

〇〇と
いうこと？

『自分のことをよく理解してくれる人がいることが不自由ないってこと?』

『自分から言わなくても相手から「おはよう」といってくれる関係があることが不自由ないってこと?』

『朝起きた時に今日も頑張ろうと自然と思える暮らしが不自由ないってこと?』

👤 = 子どもの回答

👤 = おとなの質問

次のような使い方も参考にしてください。

「スマホを持ったら便利だから欲しい」

🔍 『便利だから欲しいの? スマホだから欲しいの?』

🔍 『スマホで何がしたいの?』

🔍 『便利って例えば、何ができると便利なの?』

マークの種類

🔍 具体的にききたい!の質問

⚖️ 意味をしぼりたい!の質問

📝 まとめ・定義をしたい!の質問

「いやなことされたりするから」

🔍 『いやなことって何? 例えば?』

⚖️ 『いやなことをされるのと言われるのならどっちの方がいや?』

⚖️ 『勉強しなさいって言われるのもいやなことに入るの?』

📝 『自分のいやなことを分かってくれてることが大切ということ?』

📝 『あまり介入せずに遠くから見守ってくれてることが大切ということ?』

「友だちともっと遊んで思い出を増やしていきたい」

⚖️ 『(あなたにとって)遊ぶことが大事なの? 思い出を増やすことが大事なの?』

⚖️ 『いい思い出も嫌な思い出も含めて増やしたい?』

🔍 『どんな友達との思い出を増やしたい?』

🔍 『どんな遊びが思い出になるの?』

📝 『思い出を共有できる友だちがいることがあなたにとって大切なこと?』

📝 『もっと遊びたいと思える友だちがいることがあなたにとって大切なこと?』